60-second Quiz

☆ねらい

○単語に出合う回数が増えることで、語彙の定着を図ることができる。

○ペアでチェック・採点し、スコアやタイムを競い合うゲーム的要素を取り入れることで、前向きに単語学習に取り組むことができる。

☆扱う場面

　毎授業での帯活動として学習する（授業始め５分程度）。単語を発音するステップＡ、単語を和訳するステップＢ、単語を英訳するステップＣの順に３段階をそれぞれ２回、計６回行う。該当単語を扱う単元に入る１、２時間前から導入し、予習として取り組む。

☆指導の手順と留意事項

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導の仕方・留意点等 |
| ＜例）StepＡ１回目練習＞1. 全体で発音練習をする。
2. 個人で発音練習をする。
3. 再度全体で発音練習をする。
 | ・単語一覧表を配り、１～５０まで一気に発音練習を行う。※発音が曖昧でも、文字を見ながら聞こえたとおり発音することに集中させる（音と文字の一致）。・発音できる単語に色を付けるよう指示し、５０個全てに色が付いた状態を目標に練習させる。※発音できない単語は教師に質問、または、裏面のカタカナヘルプを利用させる。・質問の多かった単語、文字から発音が推測しにくい単語のみを再度練習する。 |
| ＜StepＡ１回目挑戦＞1. ペアで採点用紙を交換する。

② 先攻・後攻を決める。1. 先攻の生徒が挑戦し、後攻の生

徒は採点する（スコアとタイム記入）。1. 後攻の生徒が挑戦し、先攻の生

徒は採点する（スコアとタイム記入）。1. ペアのスコア合計を記入する。
 | ・英語でじゃんけん、「If your hair is longer than your partner, you go first.」などの指示で先攻・後攻を決定する。＜挑戦中の約束＞→挑戦者：発音できない単語は「パス」する。→採点者：50番を終えた時点で時間が余っている　　場合、①曖昧な発音だった単語②パスされた単語に戻り再度考えさせる。・次回のStepＡ２回目では、以下を目標に練習に取り組むよう指示する。→満点だった生徒：タイムの更新→満点ではなかった生徒：スコアの更新※常に「前回の自分を超えること」を目標に取り組むことを伝える。 |